~~~~~~

バックアップとシステム高速化維持のための最適化（支援ソフト DenUtl）

~~~~~~

[DenUtl]

バックアップは非常に重要です。一日一回はバックアップを取ることを強く推奨します。

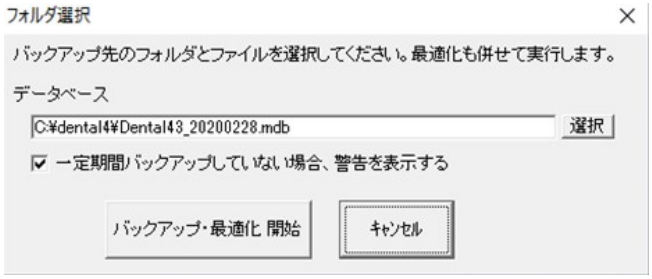


デスクトップ上のこのアイコンでバックアップを取る DenUtl **が起動します。**

手順

1、「データバックアップ」をクリックでまずデータを最適化し容量を減らし高速化します。
　その後バックアップを作成します。

2、このような画面が表示されます。



「バックアップ・最適化開始」で進みます。
バックアップ開始しますか?「はい」でバックアップします。

※ 「データベース」のみで患者情報やカルテ内容、領収証などすべてのデータをバックアップできます。

※ 大樹でレントゲン写真など画像管理や歯科疾患管理計画書などの文章管理を行っている場合は、
　Cドライブ内「dental4」内にある「image」「stddoc」を手動で別メディアに保存してください。
　頻繁に行うと保存先のメディアがすぐにいっぱいになってしまいますのでご注意ください。

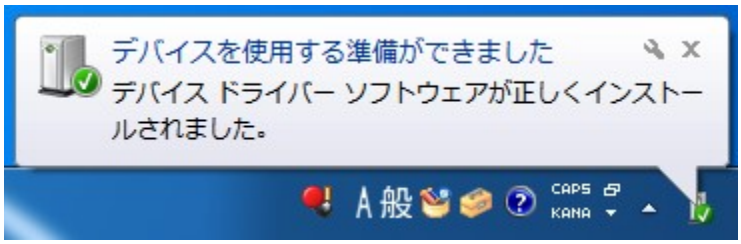
バックアップはデータベースに問題が発生した場合の問題解決として非常に有効です。
こまめにバックアップをしていただくことをお勧めすると共に、パソコン自体に問題が起こったときの為に、
別のメディア（USB メモリー、外付け HDD など）にもバックアップしてください。
次のページで別メディアへのバックアップ方法をご説明します。

別メディアへの保存

例：USB メモリーへバックアップを保存します。

まず、USB メモリーなどをパソコンに差し込みます。

パソコンが始めて認識するメディアの場合はこのようなメッセージが画面右側に表示されます。



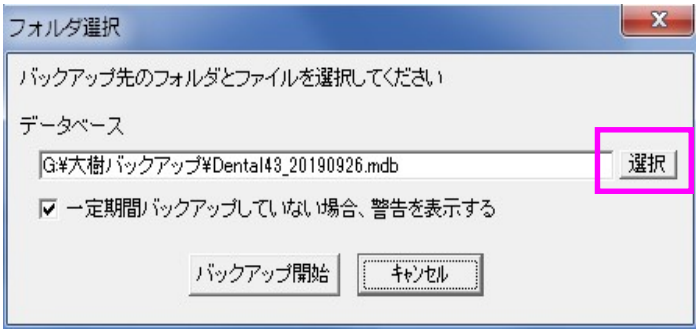
この際、例えば「リムーバブルディスク（G：）に認識されました。」など、

そのパソコン上での名前が付けられます。

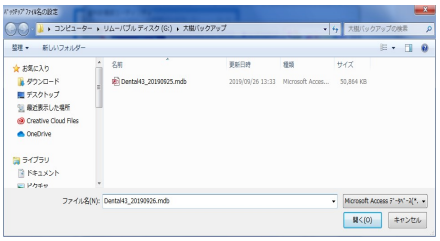
パソコンによって異なり、USB メモリーなどメディアによっても異なりますので、

「コンピューター」などで、どの様に認識されたのかご確認ください。

バックアップをする際に「選択」で保存先を指定します。



例：リムーバブルディスク（G：）内に「大樹バックアップ」というフォルダを作り保存先に指定

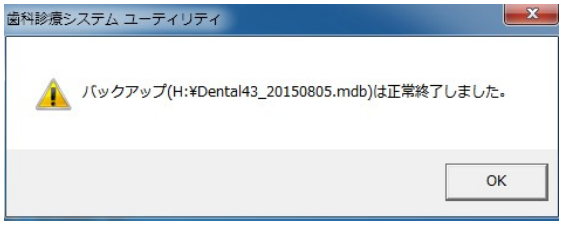


保存場所が任意の別メディアであることをご確認いただき、「開く」をクリックします。

この際、USB のバージョンやメディアの性能によってバックアップ時間が異なります。

通常の dental4 に保存するより長く数分かかる場合もございますが、しばらくお待ちください。

※あまりに長い場合は（何十分もかかるなど）「終了」で一度終わらせてください。



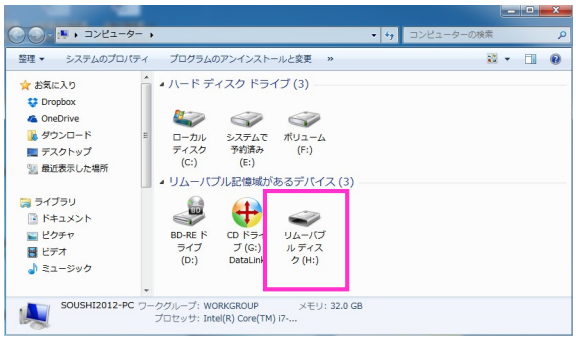
バックアップが正常に終了した旨のメッセージが出たら「OK」でバックアップ完了です。

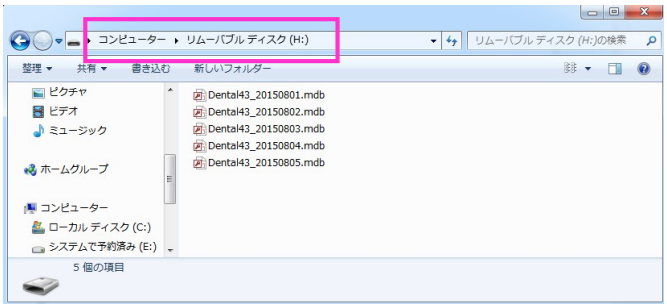
バックアップが正常に取れているかの確認や整理

バックアップが取れているか確認は、バックアップ保存の際に指定したメディアを開いて確認します。

※ バックアップファイル自体は開くことは出来ません。

例：「コンピューター」リムーバブルディスク(H:)を開いてバックアップデータがあるか確認します。





バックアップファイル名は「バックアップ_20240101.mdb」などバックアップ_の後に
バックアップを取った日付が表示された物です。

毎日バックアップを取り続けると、徐々にバックアップファイルが増え要領がかさみます。
バックアップは一度取ると、それ以前の情報を総て含んだ状態でバックアップされます。
従って、古い日付のバックアップは必要なくなります。
一か月分もあれば十分ですのでそれ以前バックアップデータは削除してしまってかまいません。
削除したいバックアップファイルを右クリックして「削除(D)」を選択してください。

数日分のバックアップファイルを一度に削除する場合
① マウスの左クリックを押したまま削除するファイル範囲を囲みクリックを離します。
② 右クリックで「削除(D)」を選択してください。

※「dental4」フォルダ内にバックアップを取っている方は、
削除する際必要なファイルを誤って削除しないようにご注意ください。
また、パソコン自体が壊れた場合など取出しが不可能になる場合がありますので、
別のメディアへ保存することを強くお勧めします。

※「データバックアップ」や「バックアップ・最適化 開始」などのボタンは
シングルクリックです。不必要にダブルクリックなどをしないように慎重にお願いします。

バックアップファイルを使った復旧方法

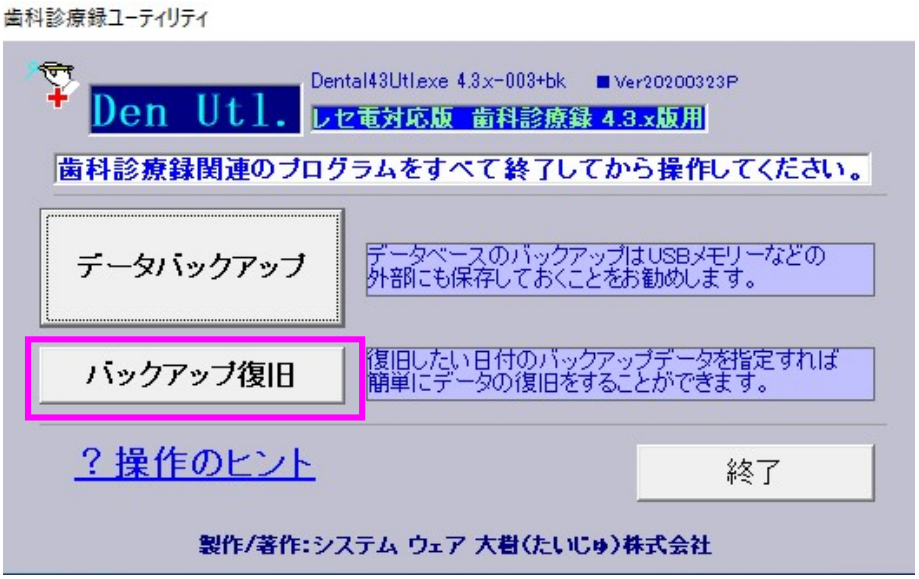
復旧操作

データファイルあるいはパソコンに不具合が生じ、今までのデータが使えなくなった場合、
バックアップファイルを使えばバックアップ時点まで速やかに復旧することが容易に出来ます。
大樹は「Dental4」フォルダの中の「Dental43.mdb」ファイルに大樹導入時からの患者情報・カルテ内容・処置設定等、画像データ以外の全てのデータが納められています。バックアップ操作によりこのファイルがバックアップされています。

※　データに致命的なダメージがある場合などに限ります。
　　安易にバックアップの復旧をしないようご注意ください。

復旧操作

「バックアップ復旧」をクリックします。

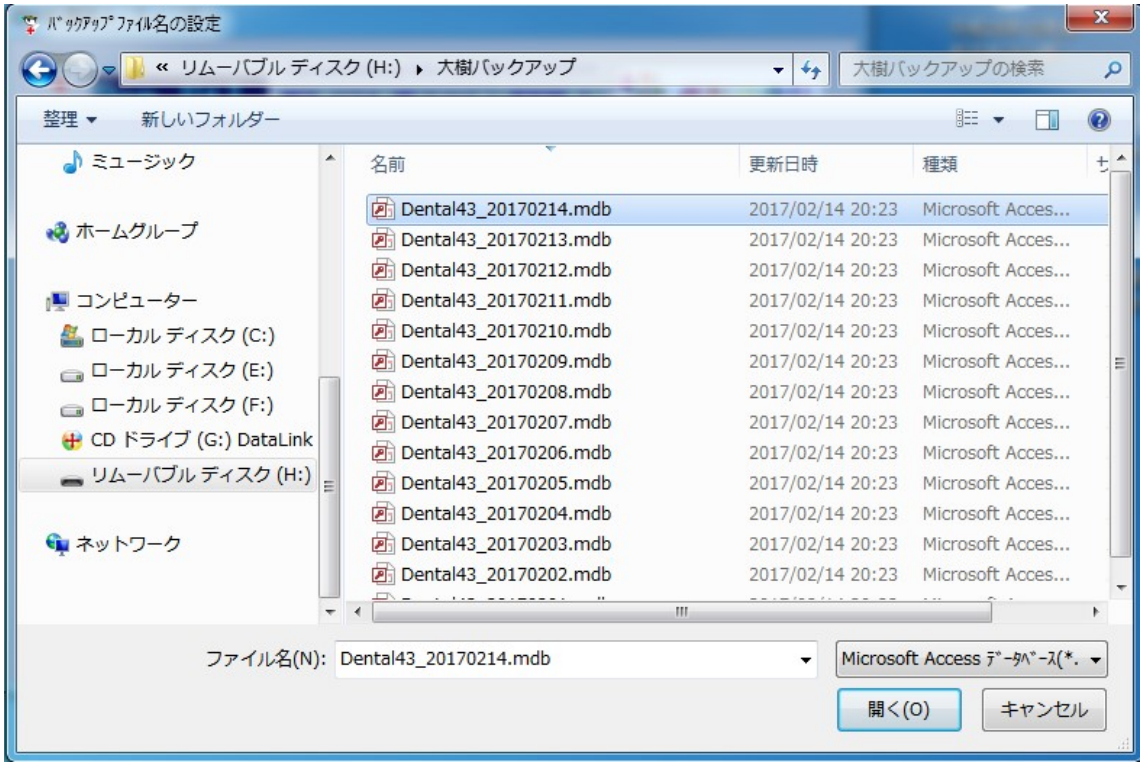


「バックアップ復旧」をクリックでバックアップ開始同様の画面が表示されます。



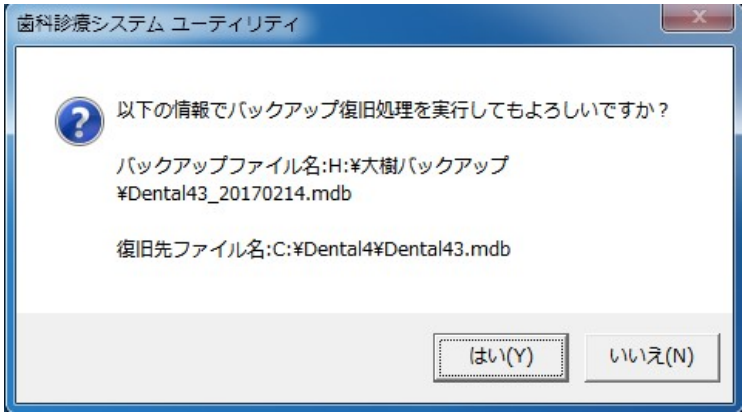
バックアップ同様の方法で「選択」から保存してあるデータ
（バックアップ先の直近データ「バックアップ_〇〇〇〇〇〇.mdb」）を探し「復元開始」をします。
※「選択」の詳しい説明は次のページでご紹介します。

「選択」で普段バックアップを取っている場所を探し、最新のバックアップデータを選択します。

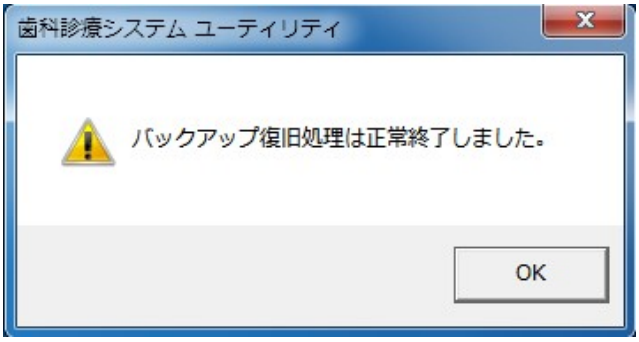


例：リムーバブルディスク（USB メモリーなど）内に「大樹バックアップ」を作り、
日々バックアップをとっていた場合、「バックアップ_20170214.mdb」を選択し「開く」をクリック

「選択」後「復元開始」でバックアップ復旧を開始します。



下記のメッセージが出て「OK」で完了です。



補足

CD-R や DVD-R 等に保存したバックアップファイルは場合によっては「読み取り専用」になっており、名前の変更等ができません。次の操作でファイルの設定を変更して下さい。

（1）ファイルを右クリックし、ポップアップメニューのプロパティをクリックします。

（2）属性で「読み取り専用」にチェックが入っていたら、チェックを外し「OK」をクリックします。

補足 2

患者データやカルテ内容、任意で作成された処置ボタンなどはすべて「Dental43.mdb」ファイルに格納されます。

これに自動で日にちをつけたもの（例：「バックアップ_20150805.mdb」など）が

バックアップデータとなります。

ただし、画像データや各種文章は Dental43.mdb には含まれません。

画像や文章は別のフォルダに保存されるためです。

例：

各患者の画像データは「image」フォルダに保存されます。

各患者の文章データは「stddoc」フォルダに保存されます。

※　画像と文章関係はデータベースと違い容量が多いのでかなり時間がかかります。

※　文章とは歯科疾患管理計画書などで、カルテ内容のことではありません。37 ページ参照